

「莊司貴和子アンコール展」開催にあたって

東御市梅野記念絵画館  
館長 佐藤 修

莊司貴和子に関する文献資料は少ない。中で、1980年(昭和55年)の「芸術新潮」8月号に掲載された加山又造氏の真性のこもった評が今もって新鮮で読む者の胸を打つ。

曰く

「稀有の才能に満ち」「単純極まりないのに、典雅で、えらくしゃれた感じ」「日本画という制約の多いとも思える素材、技法で、日本画のみが可能と思える抽象作品を、地道に、しかも才能豊かに、一貫して発表しぬいて居られ」「胸をときめかして見たのである」

「加山又造が推す莊司貴和子」と題され、39歳の若さで亡くなった画家を讃えたこの文章を読み、胸深くにしっかりと留めた人物がいた。当時東京京橋で「美術研究藝林」を拠点に活動していたコレクター梅野隆さん(当館前館長)である。

この画家の絵に出会いたい、という梅野さんの一念が通じたかのように、平成18年、とあるオークションで梅野さんは、遂に莊司貴和子の大作を射止めた。作品の名は「玄海の月」である。

以来、いつか莊司貴和子の展覧会をとの梅野さんの夢は、残念ながら生前に実現することはなかったのだが、平成24年の春、絵画館で、私たちはご夫君の莊司準さんの突然のご訪問を受けるのである。そして展覧会開催の道が開けた。

梅野さんがあの世で念力でも念力でも掛けたのであろうか。まるで誰かが操っているかのような、ふしぎな巡り合わせであった。「芸術新潮」で、梅野さんが加山又造の評文を目にしてから30年を超える時間が経っていた。

画家が亡くなった翌年、昭和55年に遺作展が開かれた。それ以来の展覧会である。それだけの時間をおいたにもかかわらず、今回、函から出された作品は、まるで昨日描かれたかのように瑞々しい色彩を放って姿を現した。

「稀有の才能」が生んだ「典雅」な作品の数々、画家が大きな可能性を秘めたまま若くして逝ったことを心から惜しむ。この展覧会を機に、是非再評価されることを願う。(2013年展覧会挨拶分)



1971年 北海道ト卜原にて

### ■ 2015・16年イベントスケジュール

- 11月1日(日) 山内龍雄展オープニング
  - 11月29日(日) 劇団くるま座 中西八枝(ハンの星)公演
  - 12月6日(日) 親子で描く年賀状
  - 12月20日(日) クリスマスコンサート
  - 1月17日(日) 友の会新年会
- ※変更となる場合もございます

### ■ お知らせ

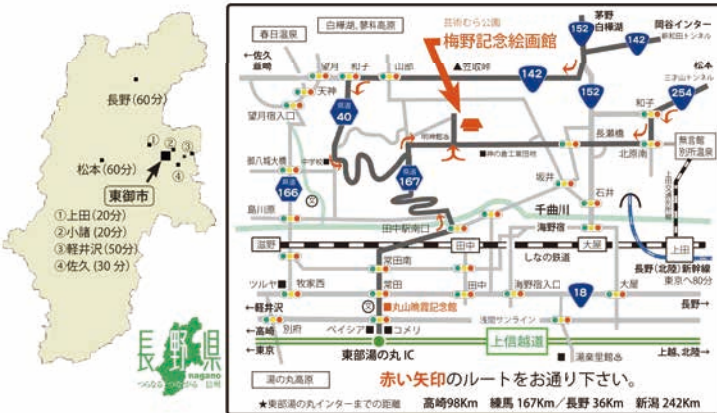
- ◆11月15日(日)、12月13日(日)に田中駅～当館の区間で送迎を行います。11時田中駅発、16時当館発です。予約が必要ですので、お電話にてご予約をお願いします。
- ◆当館は1月19日(火)～2月14日(日)まで収藏品整理期間です。期間中は休館となります。
- ◆12月24日(木)～1月4日(月)まで冬期休館とさせていただきます。
- ◆2月16日(火)～3月27日(日) わの会の眼展

### ■ 施設情報、開館案内

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>  
〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1  
TEL0268-61-6161 FAX0268-61-6162 umenokinen@ueda.ne.jp  
開館時間 午前9時～午後5時(4時30分迄にご入館ください)  
入館料 800円(高校生以上)団体割引700円(15名以上)  
身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。  
休館日 11月2、4、9、16、24、30日 12月7、14、21、24日 1月12日  
冬期休館 12月24日～1月4日

### ■ アクセス

- 🚗 **お車** 練馬ICから2.5時間
- 🚆 **鉄道** 東京から最速2時間  
しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分
- ◆関東、北陸方面から  
上信越道東部湯の丸インターから15分
- ◆関東、北陸方面から  
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。
- ◆中部、関西方面から  
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間
- ◆中部、関西方面から  
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車



地域の情報をラジオで発信!  
エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは  
m@fntomi785.jp

# 莊司貴和子 アンコール展



玄海の月、1976年

2015年10月31日(土)▶2016年1月17日(日)

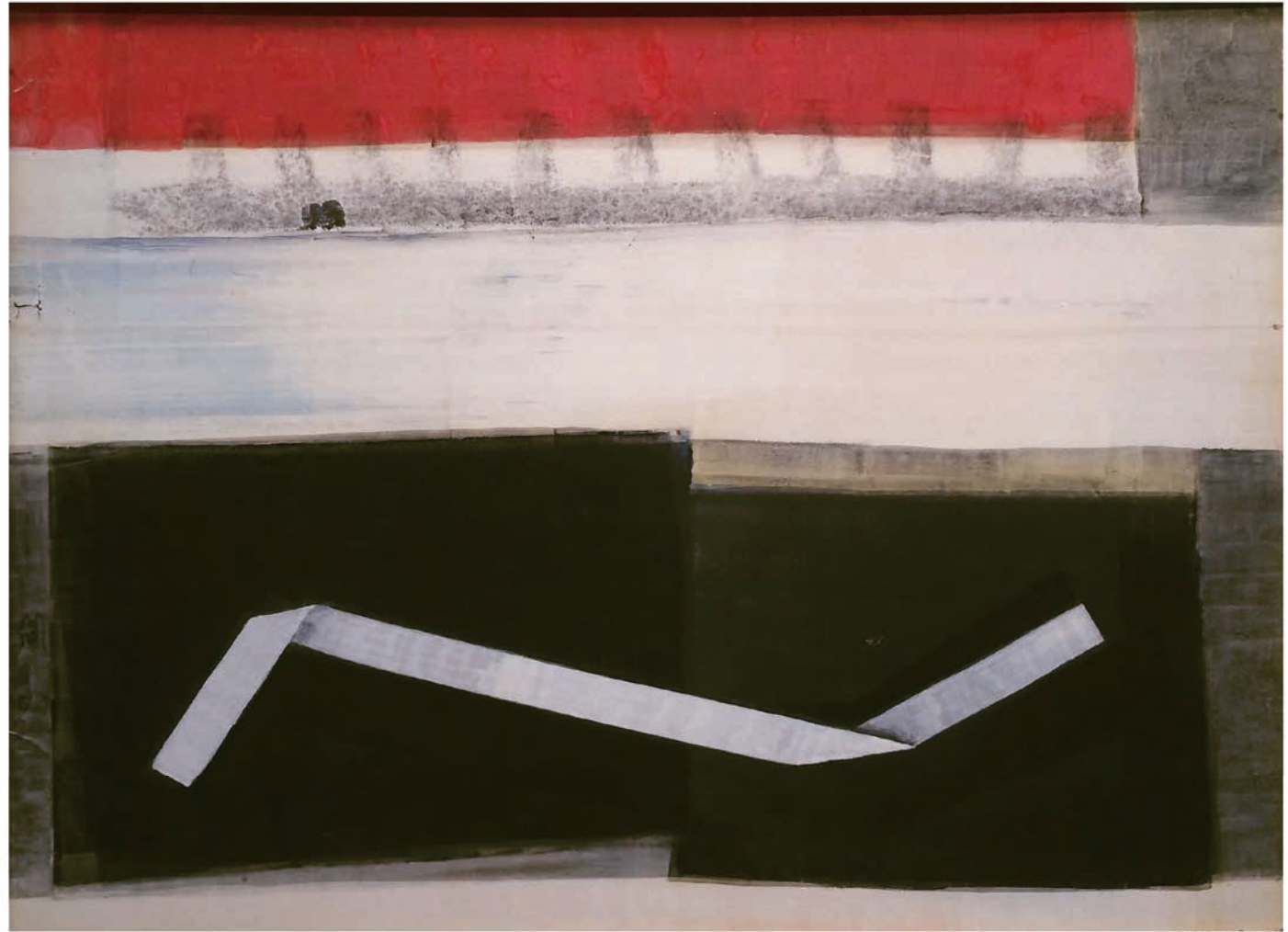
梅野  
記念  
絵画館  
www.umenokinen.com

同時開催：山内龍雄展

〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 TEL.0268-61-6161 FAX0268-61-6162

## 年譜

- 昭和 14(1939)年 神戸市須磨区に生まれる。
- 昭和 18(1943)年 父の転勤に伴い、長崎に移住。
- 昭和 20(1945)年 7～12月島原半島に疎開。12月末長崎に戻る。
- 昭和 31(1956)年 石橋美術館開館記念展で、後期印象派の作品に影響を受ける。後、東京都立駒場高等学校芸術科に転入学。
- 昭和 33(1958)年 同校卒業。この後しばらく日本美術院の須田洪中の指導を受ける。
- 昭和 34(1959)年 東京芸術大学日本画科に入学。
- 昭和 38(1963)年 同校卒業。駒場高校、私立駒込学園高校で非常勤講師として絵画を教える。
- 昭和 46(1971)年 新制作春季展「作品 I-71」出品。11月荘司準と結婚。
- 昭和 48(1973)年 新制作春季展「作品 '73-1」「作品 '73-2」出品。春季展受賞。
- 昭和 49(1974)年 新制作春季展「作品 '74-1 祭の夜」「作品 '74-2 地藏堂にて」出品。春季展賞受賞。第1回創画会展「作品 '74-3」「作品 '74-4」出品。
- 昭和 50(1975)年 春季創画展「作品 '75-1 空」「作品 '75-2 雲」出品。春季展賞受賞。第2回創画展「空-I」出品。朝日カルチャーセンター日本画教室講師として勤務。
- 昭和 51(1976)年 春季創画展「作品-I」「作品-II 海」出品。春季展賞を受賞。第3回創画展「有明の海」「玄海の月」出品。
- 昭和 52(1977)年 春季創画展「社にてI」「社にてII」出展。春季展賞受賞。第4回創画展「作品I」「作品II」出品。
- 昭和 54(1979)年 6月5日腸癌のため死去。享年39歳。
- 昭和 55(1980)年 6月東京芸大同期生達の手により遺作展開催。
- 平成 25(2013)年 10月26日より「刻の審判の場へ -祈り- 荘司貴和子展」開催(東御市梅野記念絵画館)。
- 平成 26(2014)年 同展終了後、全出展作品が長野県東御市へ寄贈。東御市梅野記念絵画館に収蔵される。
- 平成 27(2015)年 10月31日より東御市梅野記念絵画館において「荘司貴和子 アンコール展」開催。



無題、年代不詳